

なかざわ 裕隆 中沢ひろたか県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

電話de詐欺

京葉・東葛地域で多発

東葛飾地域の発展に力を注いでいる中沢裕隆県議(柏市選出、2期)は6月定例県議会で一般質問を行い、県の施策について県執行部に質しました。県内で電話de詐欺犯罪が多発していますが、中沢県議は被害が多い高齢女性を中心に防犯意識の醸成を要望、また、ラグビーワールドカップ2019の県内事前キャンプ地決定状況を聞きました。中沢県議の質疑と県執行部の答弁を抜粋して紹介します。

被害者の91%が高齢者

県警や金融機関の取り組みにより、大幅に減少したと聞いている。

しかし、犯行グループは手口を巧妙に変化させているため、未だ厳しい状況にあると認識している。

従って、被害を減少させるためには、被害者になり得る県民に対して、最近の手口について広報することが重要だと考える。

そこだろうかすが、県内において、被害が多く発生している地域はどこか。

警察本部長 本年5月末現在における電話de詐欺の認知件数は、534件であります。これを県内を地区別で比較しますと、最も多いのは、船橋市、市川市、浦安市、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市からなる京葉地区で222件、次いで、松戸市、柏市、我孫子市、流山市、野田市からなる東葛地区が138件となっております。

ます。

また、千葉市におきましても、84件発生しております。これら地区を併せますと、電話de詐欺全体の約83%が発生しているところでございます。

中沢議員 被害者の年齢別の特徴はどうか。また、最近の手口はどのようなものがあるのか。

警察本部長 被害者の年齢につきましては、本年5月末現在で、65歳以上の高齢者が全体の91%を占めており、そのうち女性が約86%となっております。最近の手口であります。

本年5月末現在で、最も多い手口は、さまざまな口実で現金やキャッシュカードなどを騙し取る「オレオレ詐欺」が453件と全体の約85%を占めております。

このオレオレ詐欺の中でも、これまでは、親族などを装い、さまざまな手口で現金をだまし取る現金手交型が主流でありましたが、最近では、警察や銀行などを装い、犯罪に使用されているのでキャッシュカードを交換する必要があるなどというを言いつつ、キャッシュカードをだまし取り、現金を引き出す手口が増加しております。

中沢議員 答弁の要望とあり、電話de詐欺は被害者の9割を超える方が高齢者である。また、86%が女性ということであり、被害を防止するために

は、ターゲットとなる高齢者、特に女性への防犯意識を高めていただくことが極めて重要であると考えている。県警においては、これまで老人会等への働きかけに取り組んでいくところだが、地域住民、事業者、関係団体、自治体等とさらに連携を、県民総ぐるみでの対策を引き続き強化していただくよう要望する。

●千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

中沢裕隆 政務調査 事務所 〒277-0061 柏市東中宿3-1-2 アーバン千代田店舗C TEL.04(7173)4791



6月定例県議会で一般質問を行う中沢裕隆県議

6月定例県議会一般質問

中沢議員 電話de詐欺を巡る情勢は、非常に厳しい状況にあると代表質問で答弁があった。

私が調査したところによると、本県の過去10年にお

ける電話de詐欺の被害認知状況は、平成22年が303件と最も少なく、史上最悪となった昨年は1517件と約5倍に増加している。

また、電話de詐欺の手口は

日々進化しており、一昨年は、「保険金の還付手続きがあります」というを言っ

て、被害者自身に送金手続きを行わせる還付金等詐欺が多発したが、

外国人観光客リピーターに 体験型観光を提供

中沢議員 外国人観光客のリピーターのニーズに

応えるため、自然体験など新たなメニューの活用が有効と考えるがどうか。

知事 訪日外国人に対する国の調査では、次回訪問時に「したいこと」として自然体験、農漁村体験やスポーツなどの体験型観光をあげる人が増えています。

こうしたことから、県では地域における体験型観光の

援するともに、サーフィンやハイキング、いちご狩り等の多種多様な体験メニューについて、インターネットを通じて情報発信を行っていくところです。

中沢ひろたかプロフィール

略歴

- 昭和45年6月19日生まれ
- 麗澤高校・大学卒業
- 柏市議会議員(3期)
- 千葉県議会議員(2期目)
- 総合企画水道常任委員会委員長
- 総務防災常任委員会委員長

現職

- 環境生活警察常任委員会委員長

ラグビーワールドカップ2019 キャンプ地に浦安、市原市

柏市ではN-1が事前キャンプ



議場自席で再質問を行う中沢裕隆県議

ランドのキャンプ地となることとが内定しました。

また、大会期間に先立って行われる「事前キャンプ」としては、去る5月7日に、柏市と代表チーム「オールブラックス」を擁するニュージーランドラグビー協会との間で、キャンプ実施の協定が締結されたところであり、県立柏の葉公園総合競技場を中心にトレーニングを行うほか、市民との幅広い交流を行うことなどが合意されています。

再質問 柏の葉球技場のラグビーポスト 県改修を検討

中沢議員 県立柏の葉公園総合競技場のラグビーポストの長さは現状7メートルあり、キャンプ地標準仕様の13メートルドカップ試合会場の標準仕様17メートルに満たないこと

東葛北部医療圏 N-1 ICU整備推進

N-1 ICU整備推進

保健医療担当部長 分娩リスクの高い妊娠や高度な新生児医療に対応できる、周産期母子医療センターとして松戸市立総合医療センターを認定しております。

中沢議員 東葛北部医療圏の周産期医療の現状はどうか。

後、松戸市立総合医療センターでNICUを6床増床し、当該圏域ではNICUが18床となりました。

中沢議員 東葛北部医療圏の周産期医療の現状はどうか。

保健医療担当部長 分娩リスクの高い妊娠や高度な新生児医療に対応できる、周産期母子医療センターとして松戸市立総合医療センターを認定しております。

保健医療担当部長 周産期医療体制については、県内でNICUの偏在があり、東葛北部医療圏では、更なる整備が求められている状況であると認識しています。

都市軸道路 利根川渡河橋の早期事業着手を

中沢議員 道路整備について、区画整理事業などで整備を進めているところ

利根川渡河橋の検討状況はどうか。

千葉県と茨城県とを結ぶ利根川渡河橋は、取付部の橋梁を含めると約3キロメートルの長大橋となることから、整備上の課題などについて茨城県と協議を行っています。

中沢議員 常磐線早期整備が実現されるよう、JR東日本に対して働きかけを行うとともに、補助金の制度についても、先ほどの部長の答弁だと、事業費が1線約1.8億円、上下線合わせると3.6億円。そして、県からの補助金は4千万円ということだが、仮にこの事業費が膨らむと、県の補助上限は4千万円ということなので、市町村からの持ち出し分が増えることとなるため、この点について、今後市町村としっかり協議していただきたい。

中沢議員 常磐線早期整備が実現されるよう、JR東日本に対して働きかけを行うとともに、補助金の制度についても、先ほどの部長の答弁だと、事業費が1線約1.8億円、上下線合わせると3.6億円。そして、県からの補助金は4千万円ということだが、仮にこの事業費が膨らむと、県の補助上限は4千万円ということなので、市町村からの持ち出し分が増えることとなるため、この点について、今後市町村としっかり協議していただきたい。

中沢議員 利根川渡河橋については、非常に長い橋梁になるとのことだが、茨城県との協議を進め、早期の事業着手を要望する。

常磐線へのホームドア 早期整備の働きかけを

中沢議員 ホームドアの普及促進についてうかがう。JR東日本から今後のホームドアの整備について新たな方針が示されたことから、県内駅のホームドア整備に向け、県としては今後、ど

のように対応していくのか。

補助対象は、原則、1日当たりの利用者数が10万人以上の駅となりますが、10万人未満の駅についても、病院や社会福祉施設等の最寄り駅や、駅の利用状況から特に設置が必要と認めら

れる場合は、対象としているところ。

中沢議員 将来的にJR常磐線柏駅の各駅停車ホームにホームドアを設置する場合、県の現行の補助制度においては、どの程度の補助額となるのか。

中沢議員 常磐線早期整備が実現されるよう、JR東日本に対して働きかけを行うとともに、補助金の制度についても、先ほどの部長の答弁だと、事業費が1線約1.8億円、上下線合わせると3.6億円。そして、県からの補助金は4千万円ということだが、仮にこの事業費が膨らむと、県の補助上限は4千万円ということなので、市町村からの持ち出し分が増えることとなるため、この点について、今後市町村としっかり協議していただきたい。

中沢議員 常磐線早期整備が実現されるよう、JR東日本に対して働きかけを行うとともに、補助金の制度についても、先ほどの部長の答弁だと、事業費が1線約1.8億円、上下線合わせると3.6億円。そして、県からの補助金は4千万円ということだが、仮にこの事業費が膨らむと、県の補助上限は4千万円ということなので、市町村からの持ち出し分が増えることとなるため、この点について、今後市町村としっかり協議していただきたい。

中沢議員 利根川渡河橋については、非常に長い橋梁になるとのことだが、茨城県との協議を進め、早期の事業着手を要望する。